

## 湯沢翔北高等学校雄勝校 中期ビジョン（5か年計画）

### I 本校が目指す姿

#### ① 学校の現状や課題

令和2年4月、湯沢翔北高等学校の地域校として開校した。前身である雄勝高等学校で実践されてきた「地域に根ざした学校づくり」という学校の方向性を継承し、地域を愛し、地域から学び、地域に貢献する生徒の育成に努めている。しかし、生徒数の減少によって活動の幅に制約を受けていることから、学校を取り巻く地域の人々の協力を得ながら、地域と共に歩む雄勝校の教育活動の質をいかに高めていくかが本校の課題である。

#### ② 学校を取り巻く将来の状況の予測

本校が位置する湯沢雄勝地区は急速に少子高齢化が進行しており、人口減少とりわけ年少人口の大幅な減少が見込まれている。このことは中学校卒業生数の減少に直結し、令和9年3月の中学校卒業生数は令和4年3月に比べて約10%減少すると推測されている。また、人口の自然減に加えて社会減も進んでいる。そのため、地域内の労働力不足が社会問題となっており、若者の地元定着が今後も大きな課題となる。このような状況の中で、本校はフットワークが軽く臨機応変に対応できるなど小規模校ならではのメリットを活かし、地域の活性化に向けての取組、地域を支える人材の輩出など、地域の期待に応える学校づくりを進めていく必要がある。

#### ③ スクール・ポリシー

##### i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

自啓自発の精神、課題解決力を身に付け、学びを生かした新たなもの創りの意欲に満ち、主体的に自らの進路や社会の未来を切り開く力と豊かな人間性を備えた生徒。

##### ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

自啓自発の精神で自ら学び考える主体的な学習態度・責任と協調、礼儀・健やかな心身の育成と、体験的な学習を通じて、生徒一人ひとりの豊かな個性や能力を伸ばすことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行う。

- 1 社会で生き抜く力を身に付けさせるために、生徒の進路希望や地域のニーズに応えるカリキュラムを編成する。
- 2 社会に意欲的に貢献できる人間を育てるために、基本的生活習慣の確立を図るとともに、責任と協調を重んじ、礼儀正しく他の人を思いやる心を育む。
- 3 学力の向上を図るために、学習指導を通じて、自ら学び考える主体的な学習態度を身に付けさせる。
- 4 将来にわたって社会的自立を果たす人材づくりを行うために、体験学習を通じて、生徒一人ひとりの豊かな個性や能力を伸ばす。
- 5 望ましい職業観・勤労観を育成するために、地元企業と連携を図りながら実践的な教育を行う。

iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- ・ 自立した社会人になるための基礎学力が身に付いている生徒
- ・ 元気な挨拶ができ周囲とコミュニケーションがとれる生徒
- ・ 自然に対する豊かな感性と伝統文化の継承意思をもつ生徒
- ・ 前向きな姿勢をもち心身のバランスがとれた生徒

## Ⅱ 5年間を通しての具体的目標と取組

### ① 5年間を通しての具体的目標

[在学中]

- ・ 皆勤および精勤者50%以上
- ・ 地域活動による単位取得100%

[卒業時]

- ・ 県内就職率80%以上
- ・ 湯沢翔北高校専攻科介護福祉科への進学率20%以上

[卒業後]

- ・ 就職者の早期離職率5%以内

### ② 目標を達成するための具体的な方法、取組等について

#### 学習指導

- ・ 学校設定科目「雄勝野」や放課後補習による個に応じた丁寧な学習指導によって、基礎基本の定着と思考力の育成を図る。
- ・ 地域の人材など外部の教育資源を積極的に活用する。
- ・ 家庭学習の成果を評価し、学習への意欲を喚起する。
- ・ 読書活動のさらなる推進と図書室の活用を目指す。
- ・ 学校設定教科「地域」並びに「総合的な探究の時間」を活用し、地域を学び、地域を理解する体験的・実践的な活動を実践する。

#### 進路指導

- ・ 生徒の内面を聞き出す個別面談や個に応じた補習や添削指導を充実する。
- ・ 生徒の主体的なインターンシップを推進する。
- ・ 福祉、家庭、商業、工業などの資格取得を奨励する。
- ・ 地元企業等との連携を深め、就業体験の機会を設ける。

#### 生活指導

- ・ 規範意識を育成し、ぶれない指導を徹底する。
- ・ 学年部を中心とする教職員と保護者の連携を図る。

#### 特別活動等

- ・ ボランティア活動・体験活動の意義を考えさせ、主体的に参加する生徒を育成する。
- ・ 生徒会活動や部活動において翔北本校との積極的な交流を図る。
- ・ 地域のNPO法人等の活動と連携して、部活動を充実させ、感動体験の機会を増やす。

令和3年6月策定

令和5年6月一部改訂